

新居浜市 別子山地区

～限界集落なんて呼ばせない・・・「絆」プロジェクト～

● 集落の概要

別子山地域は平成 15 年に新居浜市と合併した総面積 73 k m²の旧別子山村にあたります。この地域は昭和 48 年の住友別子銅山筏津坑の閉坑を最後に全山休山となって以来、地域人口の著しい減少とともに様々な過疎対策がおこなわれてきました。現在は地域人口 190 人、高齢化率 50%となっていますが、四季折々の景観に恵まれた豊かな自然と別子銅山産業遺跡群などの地域資源を活かし、地域内外の交流を促進することによって、地域一体となった活力ある地域づくりを目指しています。



旧別子銅山遺産等散策ツアー

● 集落の活動内容

① 取り組み内容

季節を体感する絆まつりでは、春は地域の巨木エドヒガン桜をメインとしたコンサート等の実施、夏には別子山の夜を満喫できる「星空観察会」を実施しました。さらに、秋冬にかけ季節の自然を体感できるイベント等、地域住民が率先して取り組みを進めています。



魚つかみ大会

② 成果

これまで、地域の自然にふれる各種体験イベントを実施することで、住民それぞれが人を呼び込むことへの意識を高めることができています。また、様々なハンデを力に変える事が出来ることを実感し、地域づくりに対する意識の高揚と、交流人口拡大に繋がっています。



別子山「星空」観察会

③ 課題

様々な事業展開によって、地域を知っていただく機会が増えましたが、地域の高齢化は避けられない現状であり、定住人口及び若年層の増加に繋がる斬新な取組を実施出来るかが今後の課題です。

④ 今後のビジョン、目標

今後の事業展開では、地域内の特産品作りの得意分野を持つ方々の協力を得て、講習などを実施することにより地域力を高めることとします。また、冬季の集客に繋がるイベントを実施し、四季を通した魅力と、「行きたい、住みたい」をアピールしたいと考えています。



エドヒガン桜鑑賞会

● 活動主体

別子山「絆」プロジェクト事業推進委員会

【PRコメント】

地域が限界集落といわれたいよう、地域住民総参加による「絆」を深めることによって地域再生に取り組んでいます。